令和3年第1回

相楽郡広域事務組合議会定例会会議録

(令和3年2月16日)

令和3年第1回相楽郡広域事務組合議会定例会会議録

○招集年月日 令和3年2月9日(火)

○告示年月日 令和3年2月9日(火)

○招集の場所 大谷処理場 会議室

○開 会 令和3年2月16日(火) 午後1時47分

○閉 会 令和3年2月16日(火) 午後4時00分

○出席議員(13名)

1番	谷口 雄一	2番	長岡 一夫
3番	西山 幸千子	4番	河口 靖子
5番	由本 好史	7番	宮崎 睦子
8番	柚木 弘子	9番	山口 亘
10番	大倉 博	11番	山本 和延
12番	梅本 章一	13番	小西 啓
14番	三原 和久		

○欠席議員(1名)

6番 岡田 勇

○会議録署名議員

12番 梅本 章一 13番 小西 啓

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の氏名

代表理事(精華町長) 杉浦 正省 理事(木津川市長) 河井 規子
理事(笠置町長) 中 淳志 理事(和東町長) 堀 忠雄
理事(南山城村長) 平沼 和彦
会計管理者(精華町会計管理者) 上野 靖

○事務局職員出席者

事務局長 福田 全克 次長 國子 慶順
主査 南山 新治

○議 事 日 程

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 同意第 1 号 相楽郡広域事務組合監査委員の選任について
- 第 4 議案第 1 号 令和 2 年度相楽郡広域事務組合一般会計補正予算（第 1 号）
について
- 第 5 議案第 2 号 令和 2 年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計補
正予算（第 1 号）について
- 第 6 議案第 3 号 令和 3 年度相楽郡広域事務組合一般会計予算について
- 第 7 議案第 4 号 令和 3 年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計予
算について

令和3年第1回相楽郡広域事務組合議会定例会

令和3年2月16日（火）

大谷処理場 会議室

（午後1時47分 開会）

○議長 皆さん、こんにちは。寒い中、御参集いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の会議に欠席の通告議員は、6番、岡田議員であります。

ただいまの出席議員は13名で定足数に達しておりますので、これより、令和3年第1回相楽郡広域事務組合議会定例会を開会いたします。

本定例会に傍聴の申出がありますので、議長においてこれを許可いたします。

また、広報用として、写真撮影を許可しておりますので、御了承願います。

それでは、代表理事から挨拶を受けます。

杉浦代表理事、どうぞ。

○杉浦代表理事 皆さん、こんにちは。代表理事で精華町長の杉浦でございます。

開会に当たりまして、御挨拶を申し上げます。

本日は、令和3年第1回相楽郡広域事務組合議会定例会を招集させていただきましたところ、議員の皆様方におかれましては、公私とも何かと大変御多用の中、御出席を賜り、誠にありがとうございます。平素は、当組合の運営に格別の御理解と御協力を賜っておりますことに対しましても、改めて厚く御礼を申し上げます。

さて、日本の経済の先行きは、新型コロナウイルス感染症の影響から厳しい状態であり、この感染症の影響が、拡大・長期化するリスクも懸念されております。

御承知のとおり、現在、国会では、一般会計の総額が、106兆6,000億円余りに上る来年度予算が審議されております。

令和3年度予算のうち、地方交付税交付金等は、総額で1,396億円増となっているものの、私たち地方自治体を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が続いております。また、構成市町村の財政は、社会福祉関係経費の増加など、引き続き非常に厳しい状況が続いております。

このような中、財源の72%が構成市町村の分担金である本組合といたしましては、事務の効率化を図りながら効果的な組合運営を目指し、積極的なコスト削減を図る一方、し尿処理事業を中心に、消費生活センターや休日応急診療所の運営など、住民生活の安心に直接つながる事業を進めているところでございます。

特に、令和元年度から2か年で国の循環型社会形成推進交付金を活用し、大谷処理場基幹的設備改良工事が3月末で完了の予定で、令和3年4月からは供用開始となります

ことから、細心の注意を払いつつ、日常の運転管理をしていくことが必要であります。

それではここで、昨年1月13日に開催いたしました定例議会以降の本組合の主な取組について、5点報告を申し上げます。

1点目は、し尿処理業務についてでございます。

し尿及び浄化槽汚泥の搬入量につきましては、下水道の進捗などによりまして、年々減少しておりますが、令和2年12月末現在で、し尿は前年比約5%減、浄化槽汚泥も前年比約2.2%減で、全体で約3.3%の減少となっており、今後も下水道へのつなぎ込みなどの影響で減少していくことが予想されます。

また、大谷処理場運転維持管理業務につきましては、平成17年度より「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」、いわゆる合特法の趣旨を踏まえた措置として、し尿・浄化槽汚泥収集運搬業者で構成されます京都南部環境事業協同組合に委託して業務を遂行しているところでございます。

本年度の施設処理及び運転管理は、大きなトラブルもなく、水質も良好で安定的な運転管理が行われ、予定している修繕工事も全て終了しております。

次に、大谷処理場基幹的設備改良事業でございます。

令和元年・2年度の2か年事業でございまして、改良工事については、浅野アタカ株式会社大阪支店と契約を締結し工事を進めておりますが、12月末現在で出来高90%で計画どおり進捗しております。12月末には高圧受変電盤を更新し、2月10日から調整槽の改良工事を、2月17日からは総合試運転、3月8日から性能試験、3月31日に引渡しを受ける予定でございます。

また、同工事に伴います施工監理業務につきましては、株式会社環境技術研究所京滋営業所に委託し、重点監理による納品や検査の立会い、監督業務の支援を行い、毎月月末には工程会議を実施しております。

2点目は、相楽消費生活センターについてでございます。

令和2年12月末現在での相談件数につきましては、466件、1日平均2.6件の相談であります。前年度と比較しますと、54件、10.4%の減少となっております。

相談内容は、ほぼ全国的な相談内容と同じ傾向でございまして、一番多い相談は、不審な荷物、海外郵便物などの「商品一般」で58件、続いて、相隣問題や身元保証人などの「相談その他」で40件、3番目はスマートフォンの架空請求などの「放送コンテンツ等」で36件となっております。また、新型コロナウイルス感染症関連の相談件数は、44件でございました。

次に、消費生活出前講座は、老人クラブや民生児童委員協議会などに御利用いただき、本年度3月までに計7回、120人を対象に実施を予定しております。本年は、新型コロナウイルス感染症感染の拡大防止のため、大幅に申込みが減少しております。

また、教育委員会・学校関係の消費者教育、及び福祉部局・社協などの高齢者見守りネットワークにつきましては、相楽台小学校、相楽小学校、精北小学校、木津第二中学校及び木津南中学校で計21クラスに出前授業を実施の予定でございます。和束町見守りネットワークであります和束町民生児童委員協議会において、消費者被害の事例に関する情報提供など、9月及び1月に実施をいたしました。

3点目は、相楽休日応急診療所についてでございます。

令和2年12月末現在での受診者数は、215人で、1日当たりの受診者数は、平均しますと4.2人でありました。年末年始の受診者数につきましても、5日間で54人、1日当たり平均約10人が受診され、昨年度の平均約30人と比べ、新型コロナの影響もあり、大幅な減少でございました。

4点目は、相楽会館についてでございます。

御承知のとおり、貸室は大ホールのみで、令和2年12月末現在の実績は、54件993人の利用でありました。また、緊急事態宣言の発令を受けて、1月18日から3月7日、あくまでも予定でございますけれども、夜間の利用を中止し、午後5時までとしております。

なお、山城南医療圏における新型コロナワクチンの医療従事者などへの集団接種につきましては、2月12日に相楽会館大ホールにおいて、行政や医療関係者の代表者の方が打合せ会議を開催され、山城南医療圏のうち、山城総合医療センターなどの病院職員を除く約200施設から最大1,200人の集団接種について、場所を相楽会館大ホールとして、第1回目を3月20日に、第2回目を4月10日を予定とし、実施する方向で協議がなされ、当組合としては、相楽会館大ホールの貸出しと休日応急診療所の使用を協力していくこととしております。

5点目でございますが、特別会計のふるさと市町村圏振興事業についてでございます。

事業といたしましては、ホームページにより、本組合が保有します情報を発信しております。

次に、「お茶の京都」を活用した広域観光事業につきましては、「お茶の京都」広域観光事業推進交付金交付要綱に基づき、3月末日までに5市町村に交付金、総額300万円を交付する予定でございます。

また、例年1月に開催されております「相楽の文化を創るつどい」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、実行委員会において中止とされたところでございます。

以上が、本日までの経過でございます。

さて、本日定例会に提案いたします議案は、令和3年度一般会計予算及び特別会計予算など5件でございます。

以上、報告を申し上げまして、開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。
どうかよろしく願いをいたします。

○議長 ありがとうございます。

議事日程の報告を申し上げます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第128条の規定により、12番 梅本章一議員、13番 小西 啓議員を指名いたします。

日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本定例会の会期は、去る2月9日開催の議会運営委員会において、本日1日間とすることで決定されておりますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は本日1日間に決定いたしました。

日程第3、同意第1号、相楽郡広域事務組合監査委員の選任についてを議題とします。

代表理事より提案理由の説明を求めます。

杉浦代表理事、どうぞ。

○杉浦代表理事 それでは、同意第1号、相楽郡広域事務組合監査委員の選任について提案をさせていただきます。

同意第1号、相楽郡広域事務組合監査委員の選任について。

相楽郡広域事務組合監査委員に下記の者を選任したいから、相楽郡広域事務組合規約第10条第2項の規定により、議会の同意を求めます。

御提案させていただく方は、仲北悦雄様でございます。住所と生年月日、経歴については、記載のとおりでございます。

令和3年2月16日提出。

相楽郡広域事務組合代表理事。

提案理由でございます。

相楽郡広域事務組合監査委員仲北悦雄氏の任期が令和3年5月25日をもって満了することに伴い、同委員を再任するため、議会の同意を求めるものでございます。

よろしく御審議の上、原案のとおり御同意賜りますようによろしく願いをいたします。

○議長 以上で、議案の提案説明が終わりました。

これより質疑を行います。

なお、質疑の回数につきましては、会議規則第55条に「質疑は、同一議員につき、同一議題について3回を超えることができない。」と規定されていますので、よろしくお願いいたします。

質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 なければ、質疑を終結します。

これより討論を行います。

討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

同意第1号、相楽郡広域事務組合監査委員の選任についてを採決いたします。

採決は起立によって行います。

原案のとおり同意することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長 起立全員であります。

よって、同意第1号、相楽郡広域事務組合監査委員の選任については、原案のとおり同意されました。

日程第4、議案第1号、令和2年度相楽郡広域事務組合一般会計補正予算(第1号)についてを議題とします。

議案の朗読を省略し、直ちに代表理事より提案理由の説明を求めます。

杉浦代表理事、どうぞ。

○杉浦代表理事 それでは、議案第1号を提案させていただきます。

議案第1号、令和2年度相楽郡広域事務組合一般会計補正予算(第1号)について。

令和2年度相楽郡広域事務組合一般会計補正予算(第1号)を別添のとおり定めます。

令和3年2月16日提出。

相楽郡広域事務組合代表理事。

それでは、提案説明を申し上げます。

今回の一般会計補正予算(第1号)は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ62万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ9億6,262万8,000円とするものでございます。

歳入歳出予算の補正の内容でございますが、まず、歳入では、分担金は1,274万6,000円の減、負担金で103万6,000円の増、使用料で8万9,000円の減、手数料で67万円の増、府補助金で8万円の増、繰越金は1,167万7,000

円の増となっております。

次に、歳出では、総務管理費を8万3,000円の増、清掃費で82万3,000円の増、商工費で27万8,000円の減となっております。

以上、令和2年度一般会計補正予算（第1号）の概要を申し上げまして、提案説明といたします。

なお、詳細については、事務局から説明をさせますので、よろしく御審議の上、原案のとおり御可決賜りますように、よろしくお願いをいたします。

○議長 提案理由の説明がありました。補足の説明を求めます。

事務局次長、どうぞ。

○國子次長 はい、議長。事務局の國子でございます。それでは、議案第1号、令和2年度相楽郡広域事務組合一般会計補正予算（第1号）についての補足説明を申し上げます。

今回の補正予算につきましては、主に年度末での執行見込みに伴います関係科目での更正を行うものでございます。

それでは、歳出から説明申し上げますので、予算書の8ページをお開きください。

なお、補正内容の事業ごとでの内容につきまして、附属資料として取りまとめてございますので、具体的な説明は、令和2年度補正予算附属資料により行いますので、恐れ入りますが、附属資料の1ページを併せてお開きください。

まず、附属資料の1ページ上段の総務費、総務管理費、一般管理費の事務局運営共通費につきましては、7万4,000円の減額補正でございます。

これは、事業内容の欄に記載のとおり、11月27日の臨時議会におきまして御可決賜りました給与条例の改正に伴います職員給与に係ります職員手当等の減額が7万4,000円でございます。

次に、1ページ下段の総務費、総務管理費、相楽会館費の相楽会館運営経費につきましては、15万7,000円の増額補正でございます。

これは、事業内容の欄に記載のとおり、1点目は、自動扉のガラス修繕費で10万7,000円、1階トイレの修繕で5万円でございます。なお、特定財源といたしまして、会館使用料8万9,000円の充当減がございます。

続きまして、予算書は8ページ下段でございます。

附属資料は2ページに移っていただきまして、上段の衛生費、清掃費、し尿処理費のし尿収集運搬経費につきましては、103万5,000円の増額補正でございます。

これは、事業内容の欄に記載のとおり、まず1点目は、給与条例の改正に伴います職員給与に係ります職員手当等の減額が4,000円、2点目が、し尿収集運搬業務委託料の実績見込みによる増額が103万6,000円でございます。この増額の理由でござ

ございますけれども、当初予算積算時点の予測の量では、4,675キロリットルで積算をしてございましたが、このたびの積算の搬入量実績見込みでは4,756キロリットルとなったもので、当初予算におきましては、搬入量の見込みから5%の減少で計上してございましたけれども、資料集の9ページに資料は添付してございますが、減少率が4.11%となりましたため、一定程度、減少が緩やかになってきているためであるものというふうに分析をしてございます。次に、3点目が、し尿くみ取り券の還付金の実績見込みによる増額が3,000円でございます。なお、特定財源といたしまして、し尿処理手数料負担金の実績見込み103万6,000円の充当増がございます。

次に、2ページ下段の衛生費、清掃費、し尿処理費の大谷処理場運営経費につきましては、21万2,000円の減額補正でございます。

これは、事業内容の欄に記載のとおり、まず1点目が、旅費で12万円の減、執行見込みによる減額分でございます。2点目が、水質・大気分析業務、トラックスケール点検業務委託料で9万2,000円の減、こちらも執行見込みによる減額分でございます。なお、特定財源といたしまして、浄化槽汚泥投入手数料の実績見込み67万円の充当増がございます。

次に、予算書は9ページでございます。

附属資料につきましては3ページに移りまして、商工費、商工費、商工総務費の消費生活センター運営経費につきましては、27万8,000円の減額補正でございます。

これは、事業内容の欄に記載のとおり、まず1点目が、消費生活相談事業関係経費といたしまして、職員手当等で2万9,000円の減、委託料で11万9,000円の減でございます。2点目が、消費者教育・啓発事業関係経費で、報償費で10万円の減、使用料及び賃借料で3万円の減でございます。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業を中止したことによるものでございます。

これらの補正につきましては、京都府消費者行政活性化事業費補助金の交付決定に伴います財源更正及び事業費の執行見込みに伴います減額が主な内容でございます。なお、特定財源といたしまして、京都府消費者行政活性化事業費補助金7万円及び京都府レジ袋削減促進事業補助金1万円の充当増がございます。

続きまして、歳入を説明申し上げますので、今度は予算書の6ページをお開きください。

歳入では、先ほど説明いたしました歳出のそれぞれの財源といたしまして、分担金から7ページの繰越金までの所要の補正を行うものでございます。

特に、6ページの最初の分担金につきましては、基礎数値が可能な限り直近のものを使用することとしておりますため、当初予算の段階では仮の数値で算定しておりましたものを、本来の基礎数値に置き替えますとともに、歳出での不用額などによります全体

経費額の変動に合わせて、分担金の算定替えを行ったものでございます。

なお、予算書最後の10ページと11ページには、今回の分担金補正の算出内訳を添付してございますので、後ほど参考に御覧いただければと存じます。

以上、議案第1号の補足説明といたします。

○議長 以上で、議案の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 なければ、質疑終わります。

これより討論を行います。

討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第1号、令和2年度相楽郡広域事務組合一般会計補正予算(第1号)についてを採決いたします。

この採決は起立によって行います。

原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長 起立全員であります。

よって、議案第1号、令和2年度相楽郡広域事務組合一般会計補正予算(第1号)については、原案のとおり可決されました。

日程第5、議案第2号、令和2年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算(第1号)についてを議題とします。

議案の朗読を省略し、直ちに代表理事より提案理由の説明を求めます。

杉浦代表理事、どうぞ。

○杉浦代表理事 それでは、議案第2号を提案させていただきます。

議案第2号、令和2年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算(第1号)について。

令和2年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算(第1号)を別添のとおり定めます。

令和3年2月16日提出。

相楽郡広域事務組合代表理事。

それでは、提案説明を申し上げます。

今回の特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ335万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2,345万3,000円とするものでございます。

歳入歳出予算の補正の内容でございますが、まず歳入では、休日応急診療所収入で117万3,000円の減、国庫補助金は35万7,000円の増、府補助金は140万円の増、繰越金は276万9,000円の増となっております。

次に歳出では、衛生費、休日応急診療費で335万3,000円の増となっております。

以上、令和2年度特別会計補正予算（第1号）の概要を申し上げまして、提案説明とさせていただきます。

なお、詳細については、事務局から説明をさせますので、よろしく御審議の上、御可決賜りますように、よろしくお願いをいたします。

○議長 提案理由の説明がありましたが、補足の説明を求めます。

事務局次長、どうぞ。

○國子次長 はい、議長。事務局の國子でございます。それでは、議案第2号、令和2年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算（第1号）についての補足説明を申し上げます。

今回の補正予算につきましては、国及び府支出金の予算化等の財源更正に伴います休日応急診療所運営経費に対します関係科目での更正を行うものでございます。

それでは、歳出から、附属資料でもちまして具体的な説明を申し上げますので、予算書は7ページを、附属資料は4ページをお開きください。

まず、附属資料4ページの衛生費、衛生費、休日応急診療費の休日応急診療所運営経費につきましては、335万3,000円の増額補正でございます。

これは、事業内容の欄に記載のとおり、まず1点目が、①の看護師報酬、②の医師の報償費で46万円の増、2点目が、③の医薬材料費で167万6,000円の増、3点目が、④の保険料で14万9,000円の増、4点目が、⑤の医療事務等委託料で20万2,000円の増、5点目が、⑥の工事請負費で8万8,000円の増、6点目が、⑦の備品購入費で77万8,000円の増でございます。

以上が歳出でございます。

続きまして、歳入を説明申し上げますので、今度は、予算書の6ページを御覧ください。

歳入では、年度末までの受診者数の予測を踏まえまして、特定財源でございます診療報酬収入を117万3,000円減額するものでございます。また、先ほど説明いたしました歳出の財源といたしまして、令和2年度インフルエンザ流行期における発熱外来

診療体制確保支援補助金、令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金、及び京都府新型コロナウイルス感染症に係る年末年始の診療・検査体制支援金の予算化、それから繰越金の所要の補正を行うものでございます。

以上、議案第2号の補足説明といたします。

○議長 以上で、議案の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑ありませんか。

西山議員、どうぞ。

○西山議員 西山です。今、丁寧な説明をいただいたので、大体分かるんですけども、補正予算書のほうで言いましたら6ページのところで、国と府からの支出金というのがあります。国・府の支出金の補助金ですね。その区分で、今まであまりなかったものだと思うんですけども、これからコロナの感染症対策で、こういった形で積極的に補助金の交付というものに対してやっていかないといけないと思うんですね。140万だけで本当に、ちょっと少ないんじゃないかなという部分があるのと、その部分、こういった形で補助金の申請とかにつながっていくのかというのがまず1つ。

それと併せて、今年は特に診療報酬は、診療自体が少なかったもので、収入自体が落ち込んでいます。でも、経費はかかってくると思うんですね。そのところの対応をこの補助金とかも含めてどういうふうに考えていらっしゃるのかというところの確認をお願いします。

あとそれともう1つ、ちょっと細かなことになるんですが、歳出の7ページのところにあります委託料のうちの特別管理産業廃棄物運搬処分というのなんですけれども、これはコロナに関してということでもいいのかどうか、そのところもう一回お願いします。

○議長 答弁願います。

事務局次長、どうぞ。

○國子次長 それでは、西山議員の御質問に答えさせていただきます。

まず1点目の国並びに府の補助金、積極的に活用してやっていく、交付してやっていく必要があるということと、実際、額としても少ないのではないかという点、あとどういった形でこの申請につながるのかという、この3つの内容かというふうに理解をさせていただきました。

まず、それぞれの補助金につきましては、国の補助金の部分の35万7,000円の部分と府の部分で100万円と40万円の140万円ということで、合わせまして175万7,000円ということの予算でございます。

まず、これらの情報につきましては、それぞれ特に山城南保健所のほうから、いろい

ろとこういう情報をいただきまして、申請につなげていっているという部分があるというのが1点でございます。

額につきましては、今回、このような形で歳出の財源として充当させていただくに十分足り得る額であるということで判断をして予算計上させていただいているのと、併せて、前年度の繰越金の部分も充当させていただいているという部分でございますので、今後もこの額につきましては、いろいろな縛りはございますけれども、できる限り特定財源の獲得に向けた対応を取っていきたいというふうに考えているところでございます。

それから2点目の診療報酬収入が減少になってきているということで、今後経費もかかっていくだろうということの御指摘と御質問というふうに認識をさせていただきます。

確かに、御指摘のとおり、診療報酬収入につきましては、受診者数の減少に伴いまして、収入は減少しているというところがございます。ただ、一方、診察をするに当たりまして個人防護服を着用した中で医師並びに看護師が診察の体制を執るというような部分もございますので、それらにつきましては、当然支出のほうが増えてくるということでございます。ちょっとかぶるんですけれども、その前段の特定財源を有効に活用しながら、あと国や府のほうからもそういう個人防護服の支給を受けるようなスキームがあり、それらも有効に活用しながら、診療体制の確立を図っていきたいとこのように考えているところでございます。

以上でございます。

すみません。廃棄物につきましては、特別管理産業廃棄物の運搬処分ということでございますので、いわゆる個人防護服を特管廃棄物として出させていただいているということでございます。

以上でございます。

○議長 西山議員、どうぞ。

○西山議員 ありがとうございます。そうしたら、山城南保健所と連携してそういったものを見込んで使っていくということで確認をしました。

この附属資料のほうにも個人防護服とあって、結構大きな額で今回も必要になってくるのかなと思っていましたので、140万ぐらいじゃ足りないですし、140万というのも、これが100万と40万は年末年始という形で使えるものがすごく限定されてくるので、ちょっと気にはなる部分です。

ちなみにこの防護服というのは、十分これで足りている、この時点では足りている額なのかとか、量なのかというところの部分、お願いいたします。

○議長 事務局次長、どうぞ。

○國子次長 それでは、西山議員の再質問にお答えさせていただきます。

個人防護服につきましては、十分足りておりまして、今回の補正予算で少し備蓄を含

めて購入させていただくということでございますので、備蓄を含めた購入の補正予算ということで御理解いただければと思います。

以上です。

○議長 ほかに。

(「なし」の声あり)

○議長 なければ、これで質疑、終わります。

これより討論を行います。

討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第2号、令和2年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算(第1号)についてを採決いたします。

この採決は起立によって行います。

原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長 起立全員であります。

よって、議案第2号、令和2年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算(第1号)については、原案のとおり可決されました。

日程第6、議案第3号、令和3年度相楽郡広域事務組合一般会計予算についてを議題とします。

議案の朗読を省略し、直ちに代表理事より提案理由の説明を求めます。

杉浦代表理事、どうぞ。

○杉浦代表理事 それでは、議案第3号を提案させていただきます。

議案第3号、令和3年度相楽郡広域事務組合一般会計予算について。

令和3年度相楽郡広域事務組合一般会計予算を別添のとおり定めます。

令和3年2月16日提出。

相楽郡広域事務組合代表理事。

それでは、提案説明を申し上げます。

令和3年度一般会計予算の編成に当たりましては、今日の市町村財政の厳しい実態を踏まえ、歳出を厳しく精査いたしました。

また、各市町村の衛生、消費生活、医療、財政担当課長会議、さらには、全体を統括し調整するために、企画担当課長による広域圏幹事会をそれぞれ開催し、担当部局との調整、協議を十二分に図ってまいります。最終的には、それらの議論を踏まえた上で、

理事会において決定をし、提案させていただくものでございます。

令和3年度一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ2億7,400万円といたしております。

大谷処理場基幹的設備改良工事が完了し、前年度比較では、6億8,800万円、71.5%の大幅な減となりました。

一方、昭和56年8月1日に設立されました相楽郡広域事務組合が、令和3年度で40周年を迎え、この3月末で基幹的設備改良工事が完了します大谷処理場も、昭和46年10月に竣工、操業して以来、50周年の節目を迎え、記念の1年目でございます。

それでは、歳入歳出予算の主な内容につきまして、説明を申し上げます。

まず、歳入では、分担金及び負担金は2億5,513万1,000円で、歳入総額の約93%を占めております。その内訳としましては、分担金は1億9,730万円、負担金は5,783万1,000円であります。一方、使用料及び手数料は1,543万5,000円で、歳入総額の5.6%を占めております。また、府支出金は343万1,000円で、歳入総額の1.3%を占めております。

次に、歳出では、議会費は42万6,000円、総務費は3,804万7,000円、衛生費は2億2,012万6,000円、商工費は1,384万1,000円、予備費は156万円をそれぞれ計上いたしております。そのうち、衛生費で、予算総額全体の約80%を占めております。

以上、令和3年度一般会計予算の概要を申し上げます、提案説明といたします。

なお、詳細につきましては、事務局長から説明をさせますので、よろしく御審議の上、御可決賜りますように、よろしくお願い申し上げます。

○議長 提案理由の説明がありました。補足の説明を求めます。

事務局長、どうぞ。

○福田事務局長 はい、議長。事務局長の福田でございます。それでは、議案第3号、令和3年度相楽郡広域事務組合一般会計予算につきまして、前年度からの変更点や特に重要な点などを中心に補足説明を申し上げます。

それでは、歳出から説明申し上げます。

予算書は、9ページから16ページまでに及んでおりますが、歳出の説明につきましては、別添の「令和3年度予算附属資料」におきまして、経費ごとの詳しい内訳などを記載しておりますので、この附属資料をもちまして説明をさせていただきます。

それでは、予算附属資料3ページをお開き願います。

まず、3ページ、議会費の議会運営費といたしまして、前年度と同額の42万6,000円の計上でございます。

次に、4ページに移っていただきまして、総務費、総務管理費、理事会費の理事会運

営費といたしまして、28万1,000円の計上でございます。

右側の5ページの総務費、総務管理費、一般管理費の事務局運営共通費といたしまして、3,556万5,000円の計上でございます。これは、組合事務局の一般事務経費でございますが、一般職員3名、そして会計年度任用職員1人、合計4人分の人件費のほか、備品購入費や財務会計ソフトの借上料、委託料等を計上させていただいております。

なお、先ほども代表理事からもありましたように、昭和56年8月1日に当時の「相楽郡衛生管理組合」、「相楽郡町村事務組合」、そして「相楽地区広域市町村圏協議会」、これらが統合し設立されました「相楽郡広域事務組合」が令和3年度で40周年を迎えることから、これまでの取組を振り返る記念誌の刊行を予定しております。

次に、6ページをお開き願います。

総務費、総務管理費、相楽会館費の相楽会館管理運営経費といたしまして、214万1,000円でございます。これは、相楽会館の管理運営費でございます。大ホールの利用につきましても、新型コロナウイルス感染症の感染防止対応といたしまして、現在も夜間の利用を中止するなど使用料の増額は見込めない状況でございます。併せて、6ページの特記事項にも記載のとおり、「広域圏事業の今後のあり方検討会」中間報告書に取りまとめられたとおり、利用者の減少や築45年を経過し、老朽化に伴う設備の更新や耐震補強などが必要となっていることもあり、過去の経過も踏まえ、相楽会館大ホールの貸室業務を令和4年度をもって廃止すべき、との結論であり、組合規約の変更に係る調整や利用団体への周知が必要となってきております。

次に、右側の7ページ、お願いします。

総務費、総務管理費、公平委員会費の公平委員会運営費につきましても、前年度と同額の3万2,000円の計上でございます。

8ページ、お願いします。

総務費、監査委員費、監査委員費の監査委員運営費につきましても、前年度と同額の2万8,000円の計上でございます。

右側9ページ、衛生費、保健衛生費、休日応急診療費の休日応急診療所運営経費といたしまして、1,492万8,000円の計上でございます。これは、本来、一般会計で経理すべき経費を特別会計に移しておりますことから、特別会計での診療所事業の収支不足分を一般会計から繰出しするものでございまして、前年度よりは、375万2,000円の増額となっております。

次に、10ページに移っていただきまして、衛生費、清掃費、し尿処理費のし尿収集運搬経費といたしまして、5,791万7,000円の計上でございます。これは、前年度と比較しますと、し尿では157キロリットル減の4,518キロリットルの搬入

を見込みまして、前年度より、200万9,000円の減額です。この部分につきまして、正誤表が出ておりますので御確認をいただきたいと思っております。申し訳ございません。

次に、右側の11ページ、衛生費、清掃費、し尿処理費の大谷処理場運営経費といたしまして、1億4,728万1,000円の計上で、前年度より1,694万3,000円の減額でございます。こちらのほうは、大谷処理場の運転管理に係る経費でございます。

なお、大谷処理場は、基幹的設備改良工事完成後の施設規模を従来の一日の処理が76キロリットルから、一日の処理が54.1キロリットルとコンパクト化をいたしております。改良後の施設維持管理業務につきましても、京都南部環境事業協同組合に委託を予定しております、令和3年度で17年目の継続した委託となっております。運転維持管理業務委託料につきましても、昨年と比較しますと、約2,400万、17.6%の減少、主に人件費で、7人体制から5人体制とすることで約930万円の減、経年維持補修費を約600万円の減等で設計をいたしております。

なお、今後とも大谷処理場の運転維持管理業務のさらなる効率化を図るために、令和3年度で、包括発注設計支援業務をコンサルタントに委託するための費用といたしまして、新たに825万3,000円を計上いたしました。

その他、令和2年度は、し尿処理費で事務補助として会計年度任用職員1名を雇用しておりましたが、基幹的設備改良工事の終了に伴い、任用を終えました。

また、基幹的設備改良工事を終え、新しく処理をスタートさせるこの大谷処理場ですが、昭和46年10月、当時の相楽郡7か町村のし尿処理施設として、現在の木津川市山城町上狛大谷のこの場所に1日70キロを処理できる施設として竣工し、操業してから令和3年度で50周年の節目を迎えるところでございます。

次に、12ページに移っていただきまして、商工費、商工費、商工総務費の消費生活センター運営経費といたしまして、1,384万1,000円の計上でございます。これは、今後の安定的なセンター運営に向けた対応や消費者被害の未然防止等の消費者教育・啓発事業など、京都府消費者行政活性化事業費補助金等を活用いたしまして、引き続き積極的に取り組むものでございます。特に、令和3年度は、消費者教育・啓発に担当する相談員の勤務体制を現在の週3日勤務から週3.5日勤務に拡充させ、エンカル消費やSDGsなどの取組を中心に消費者教育の推進を図る計画でございます。

この消費生活センターも、平成22年3月1日に設置し、令和2年度に10周年記念の消費生活フォーラムを秋に開催する予定でございましたが、新型コロナの影響で中止をさせていただきましたが、令和3年度に予定の消費生活フォーラムは、新型コロナの影響も配慮しながらの開催とはなりますが、組合設立40周年記念事業と位置づけをさせていただき、開催をする予定でございます。

右側の13ページ、予備費156万円を加えまして、以上、歳出合計で2億7,400万となるものでございます。

次に、歳入の説明に移りますので、今度は、予算書6ページをお願いいたします。予算書の6ページでございます。

最初に、第1款分担金及び負担金の第1項分担金でございます。

分担金総額は、1億9,730万円と計上いたします。前年度と比較をいたしまして、4億1,544万9,000円、67.8%の大幅な減少でございます。これは、先ほどの代表理事の趣旨説明でありましたとおり、令和元年・2年度で実施をいたしました大谷処理場基幹的改良工事が終了したことにより、し尿処理（大規模改修経費）分担金がなくなったことによります大幅な減でございます。

各事務ごとの分担金の額につきましては、説明欄の記載のとおりでございますが、市町村ごとの分担金の額につきましては、予算附属資料の17ページから25ページに各事務ごとに割当表をつけておりますので、こちらのほうは後ほど御覧いただけたらと思っております。

なお、その中で、21ページに、し尿処理の市町村分担金がございますが、分担金条例の改正に伴いまして、今回の令和3年度分の分担金から、し尿処理に係ります固定的経費の割合が変更になっておりますので、またこちらのほうも御確認をいただきたいと思っております。

また予算書に戻っていただきまして、次に、第2項の負担金でございまして、市町村からの搬入されました、し尿の量に応じました各市町村からの負担金でございますが、下水道の普及に伴いまして、し尿の搬入量が4,675キロリットルから4,518キロリットル、157キロリットル減の、前年度より200万9,000円の減少でございます。

次に、第2款の使用料及び手数料につきましては、第1項使用料でございますが、こちらのほうは御承知のとおり、1階部分が消費生活センター、休日応急診療所の開設で貸室がなくなっていまして、相楽会館のほうは、2階大ホールのみとなっておりますが、こちらのほうも新型コロナの影響等も受けまして、前年度より9万円減の11万円を見込んでおります。

次に、第2項手数料でございますが、浄化槽汚泥投入手数料を7,664キロリットル分、1,532万5,000円を計上いたしております。なお、搬入量は、7,732キロリットルから7,664キロリットル、68キロリットルの減で見込んでおります。

次に、7ページの第3款府支出金につきましては、消費生活センター運営に対します補助金でございますが、平成30年度から令和2年度までの3か年は、学校消費者教育

推進事業に活用をいたしまして、各種ハンドブックの作成等をさせていただきましたが、こちらの補助金は3か年で終了いたしました。ただ、消費者教育・啓発担当相談員の拡充を図りたいということで、先ほど申しました週3日から週3.5日、こちらの相談員1名分の人件費を全て府補助金でお願いをすることとし、前年度よりは29万3,000円の減とはなりますが、343万1,000円を見込んでいます。

次に、第4款繰越金でございますが、前年度と同額で、第5款諸収入を含めまして、歳入総額で、2億7,400万円となるものでございます。

以上が、歳入歳出予算の前年度との比較を中心に概要でございます。

そのほか、関係します内容を資料集としまして、別にお配りをしておりますので、必要に応じまして御覧をいただきますようお願い申し上げます。議案第3号の補足説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○議長 以上で、議案の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑ありませんか。

長岡議員、どうぞ。

○長岡議員 1点だけお聞きします。

予算書の附属資料で3ページ、議会費、この中で議員報酬が35万5,000円と計上されていますが、議長は年額3万2,000円、副議長は3万円、議員が2万4,000円×12人、5,000円ほど多いように思うんですけど、これは5月に精華町議会議員選挙が執行されるに従って、本組合議員の改選があるためにそういった分の報酬が上がってるんですか。それだけ1点、お聞きします。

○議長 事務局長、どうぞ。

○福田事務局長 はい、議長。事務局長でございます。2番、長岡議員の御質問でございます。

御指摘のとおりでございます。

○議長 ほかに。

河口議員、どうぞ。

○河口議員 2点、お願いします。

まず、一般会計のほうのページとしては18ページです。

職員体制についてお聞きしたいと思います。昨年は8人体制で報酬見込まれておりました、今年度は7人ということで、事務補助職員の1名減ということで、先ほど説明もありましたけれども、そのときに基幹的設備改良工事をしていただいたその職員が1人減ったという理由だったと思うんですけど、私の聞き間違いかどうかというのを確認したいのが1点です。

それと、同じように18、19ページに関連いたしますけれども、(1)のところの総括表を見ますと、合計欄は1人減っているので減額となっています。このことは理解するんですけども、そこで、ページ19の(2)の給料及び職員手当の増減額の明細のところでは、給料額内訳、それから昇給に伴う増加分が15万2,000円計上、それから職員手当のところは50万7,000円が計上されていますが、これが少しちょっと理解できないので、これの説明をお願いしたいというふうに思っています。

○議長 次長、どうぞ。

○國子次長 それでは、河口議員の御質問にお答えさせていただきます。

まず1点目の職員1名減につきましては、河口議員の聞き間違いではございませんで、一般会計では1名減になっているという状況でございます。

2点目の19ページの明細の部分でございますが、ここの昇給に伴う増加分の15万2,000につきましては、これはいわゆる正職員3名分に係る分でございます、その下の職員手当50万7,000円につきましては、18ページの下段の部分の職員手当の内訳のところの合計欄ということでございますので、ここの部分の7人分の職員手当の増加分が50万7,000円になるということでございます。

以上でございます。

○議長 河口議員、どうぞ。

○河口議員 分かりました。ただ、昇給というところで、等級なんかは変わらないのかどうかというところを確認させていただきたいと思います。

表を見ますと、昨年度と同じようにはなっているんですが、そういう意味では等級は変わらないということを確認したいというふうに思います。

○議長 次長、どうぞ。

○國子次長 では、河口議員の再質問にお答えいたします。

ページのほうは20ページを御覧いただきますと、ここのウの級別職員数というところに記載のとおり、令和2年度1月1日現在と、令和3年の1月1日現在で職員3人の等級については変わってございません。それから、会計年度任用職員につきましても、等級のほうは変わってございません。

以上でございます。

○議長 ほかに。

由本議員、どうぞ。

○由本議員 由本です。大谷処理場の運転維持管理業務につきましては、平成17年から合特法の関係で京都南部環境事業協同組合に委託されているということで、この前の定例会でも説明されたところですが、また、先ほど、この委託業務、17年目を継続して行うというような説明をされたわけですが、また、分担金条例で令和3年度から分担

金が改正されます。

そこで、この合特法に係る負担割合というのがどうなっているのか、そういう負担割合が必要だと思うんですが、この予算上、どうなっているのか教えていただきたいと思っています。

○議長 事務局長、どうぞ。

○福田事務局長 はい、議長。5番、由本議員の御質問でございますけれども、御質問の大谷処理場の運転管理につきましては、御指摘のとおり、平成17年度から令和2年度まで毎年1年契約にはなりますが、16年間、京都南部環境事業協同組合に委託をしてきておりまして、また、令和3年度につきましても引き続き契約をしていこうという方針でございますけれども、それらに係る経費につきましては、先ほど説明しました、し尿処理分担金表の中に反映をさせていただいておりまして、特に合特法の分という形にはしておりませんで、合特法の趣旨に準じて対応しておりますので、係る経費全ては、し尿処理に係る経費ということです。したがって、特に合特法の部分の色分けをして計上しているわけではございませんので、全体が合特法の対応とはなっておりますけれども、全体がし尿処理に係る経費という形になってございますので、御理解いただけますでしょうか。

○議長 由本議員、どうぞ。

○由本議員 由本です。この分担金の負担につきましては、下水道の普及が進む市町におきましては、搬入量が減りまして、負担割合、分担金が減るわけですが、下水道の整備がされていない町村につきましては、負担割合、分担金が増えるということになると思います。

そもそも下水道の普及がなければ、この合特法の適用が必要ないものでございますので、下水道の整備をされていない町村が、この合特法の関係で経費を負担するというのはおかしいんじゃないかと思っておりますので、この合特法に係る部分につきましては、それぞれの負担割合というものが要かと思うんですが、どうでしょうか。

○議長 次長、どうぞ。

○國子次長 由本議員の再質問にお答えさせていただきます。

まず、御指摘のとおり、下水道のない団体につきましては、搬入比率が5市町村にして搬入量が増えていきますので、当然、負担割合、負担金、分担金額としては上昇していく傾向にあるということでございます。

今回、分担金条例、令和3年度から負担割合の見直しをするに至る検討経過の担当課長会議並びに財政担当課長会議の中でも今由本議員御指摘の合特法部分についての負担割合を分担金条例に盛り込むべきではないかという意見が確かに出てございました。

ただ、このことにつきましては、今後引き続き検討していこうということで、今回の

令和3年度適用分の分担金割合の見直しには反映はできておりませんが、今後も引き続き、そのことについては、担当課長会議を初め、財政担当課長会議でも協議していくという共通認識のほうはできてございますので、いつの時点になるか分かりませんが、引き続き、協議・検討・調査を進めていくというところでございますので、よろしくお願いいたします。

○議長 由本議員、どうぞ。

○由本議員 すみません、ありがとうございます。令和3年度からその分担金条例が改正されて、この前の局長の説明では、精華町さんだけが減額になると。ほかの市町村は増額になるというような説明があったかと思えます。

かなり財政厳しい中、こういった合特法の関係の負担割合を早急に担当課長等々交えながら協議をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長 ほかに。

宮崎議員、どうぞ。

○宮崎議員 はい、宮崎です。2点、お伺いしたいと思います。

附属資料の5ページ、事務局運営共通費の中で、事業内容のところ、会議室用のパーティーン一式と書いてございますけれども、私がお見受けしたところ、事務局のお部屋ですよ、職員の皆さんがいらっしゃる場所の。あそこにもパーティーンが要るんじゃないかなと思っています。職員の皆さんのやっぱり健康も守らないといけませんので、来庁するのはいろんな人間がおりますので、その事務局の執務室のパーティーンはこの会議室用パーティーン一式の中に入っているのかどうかお伺いしたいと思います。

あと、もう1点ですけども、12ページ、消費生活センター運営経費のところでお伺いしたいと思います。

今回、教育・啓発で週3.5日ということで、3日から0.5日増やされたということ、そして、消費者教育の面において拡充をされたことを大きく評価したいと思います。やはり、今後未来を担っていく子供たちのため、エシカル消費など、やはりいろんな面で教育も大変重要なことですので、ここは大きく評価したいと思います。

そして、今回、その次のところに、出前講座用プロジェクター1台と、こういう購入される物品は対応できるですけども、前回の予算取りのときにもぜひとも来年度の予算に生かしていただきたいと思いますというところで、やはりリモートであったりとか、そういうツールを使ったりとか、そういうデジタル面でも設備が大事、要るんじゃないかという提案をさせていただきました。

先ほども今回の4団体が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためキャンセルということが入っていました。これで申込みが減っているということもおっしゃったわけな

んですけども、例えばこれがリモートでできる研修であったりとか、そういったもの
がもう既に取り組んでおいたならば、この研修はもしかするとキャンセルせずに皆さん
が受けていただける体制になったのかなど、そういうふうにも感じるところです。

今度ワクチン接種によって、本当に、一定、コロナウイルス感染症が減ってくれるこ
とを私は心から祈っているところではあるんですけども、今後ともコロナウイルス感
染症がなくなるという確証は持てません。

そういったところ、今後のことも考えまして、やはりもう少しデジタル化を進めない
といけないんじゃないか、そういった環境整備も含めながら機材の購入などお考えが、
ここに至るまでになかったのかどうか、あったのかどうかをお伺いしたいと思います。

○議長 事務局次長、どうぞ。

○國子次長 それでは、宮崎議員の質問に答えさせていただきます。

まず、1点目の予算のこの資料の5ページの事業内容、会議室用パーテーション一式
ということで記載させていただいております。これにつきまして、予算書にも記載のと
おり10万円の予算を計上させていただいてございまして、現段階では会議室、それか
ら予算の見積り合わせをさせていただく予定にしていますので、その状況によりまし
ては、事務室のほうにも対応できるかなというふうに考えております。これがまず、1
点目でございます。

2点目の消費生活センターの運営の関係でございます。

特に出前講座につきましても、今回4団体、新型コロナの関係で中止になっていると
いうことがあり、リモートとかそういうデジタル化の部分でということで、11月の宮
崎議員の御意見もいただいております。

これらを受けまして、消費生活の所管の担当課長会議におきましても議論をさせてい
ただきました。それぞれの構成団体の中でもいろいろとそういうリモートとかに組み
組んでいるという状況もある中で、これにつきましても、いわゆる京都府消費者行政活
化事業補助金の対象になるスキームの部分もございまして、ただ、当初予算の段階では、
ちょっと状況がまだ構成団体の状況もございまして、逆にうちのほうができてこの出
前講座が行く場合の受け皿の側の問題もございまして、その辺も含めまして引き続き
調査研究をしながら必要な時期に必要な予算計上をさせていただきたいということ
でございますので、全く検討していないということではございませんけれども、当初予算の
時点では、まだそこまでの議論が煮詰まっていないということで、引き続き調査研究
させていただきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長 宮崎議員、どうぞ。

○宮崎議員 2点目のところなんですけれども、備品関係で10万円で、事務局のほ

うに、執務室のほうに持っていかれる、あるいは執務室のほうで大変御苦勞をされて、自前で作られてされているというところも拝見していますので、ぜひとも何とかやりくりをしていただきまして、職員の皆様の健康面も大事でございますので、執務室のほうにもしっかりとパーテーションを入れていただいて、来客もあることですので、その点、気をつけていただきたいと思っています。

そして、2点目のところなんですけれども、引き続き研究をされるということで、前向きな取組をされていることが分かりました。

高齢者の方でも2020年になるとシニアのモバイル比率は92.9%、そのうちのスマートフォンが77%、ほとんど80%に近い方がもう高齢者、シニア層でも持たれています。2019年より、8.5%もこの間に2020年になって増えている。こういうことを考えますと、高齢者の方でもスマートフォンを使ってそういうリモートの研修を受けていただけるという体制がもう徐々に採られてきているというのが現状ですので、こういった現状を踏まえまして、ぜひとも早急に御議論いただきまして、そういった体制に持って行っていただくようにこれを求めておきます。よろしく願いいたします。

○議長 ほかにも。

西山議員、どうぞ。

○西山議員 すみません。附属資料の6ページのところ、相楽会館管理運営経費というところですか。

以前も指摘させていただいているんですけど、もう今日先ほど代表理事のほうから、大ホールを使ってコロナのワクチンを医療従事者の方に先行してということをお聞きしました。で、それは新年度ではないと思うんですけども、いろんなシーンできっちり衛生面とか対応しないといけないと思うんですね。急な話でそういうことが決まったかと思うんですけども、対応とか含めて、予算の部分では、新しい予算というのはないものですから、そこら辺のところはこの運営経費のほうでいいのか、先ほどの事務局の運営共通費のほうで対応するのか分かりませんが、いろんな消毒なり、出入口の確保なりとか含めて必要なことと思います。そのところは、どのように考えていらっしゃるのか、人数的なものが1,000人とおっしゃったのでしょうか。2回ワクチンを打たないといけないと思いますので、それも含めて、今どのような形で進んでいるのか教えてください。

○議長 事務局長、どうぞ。

○福田事務局長 はい、議長。事務局長でございます。3番、西山議員の御質問で、相楽会館の関係で、ワクチン接種の関係でございます。

代表理事が申しましたように、一応あくまで相楽会館大ホールを利用して集団接種を

したいというのが、山城南保健所と相楽医師会の思いでございまして、そのために場所ももちろん確認もしていただき、動線も確認し、必要な器材等も確認していただいた結果、3月20日に第1回を、で、年度替わりまして、新年度の4月10日に第2回目をとということで、この計画で現在193事業所の1,200人を対象として集団接種会場として使っていただくという方向で今、調整をしております、あくまで実施主体は5市町村になります。

相楽会館を管理しています事務組合の関わりとしては、相楽会館を貸室を貸出しをしていくということと、併せて、ショック症状等を捉えたりすると、急に対応しなければならぬ場合も山城総合医療センターで準備をしていただいていると聞いておりますけれども、ちょっと横になったりというところも含めて休日応急診療所も開放し、そのベッドなんかも利用していただけるように協力していきます。1階部分での待合室も待合という形で使っていただくという形で、特に予算的には事務組合としては取っておりません。これからいろいろ5市町村、医師会との協議の中で、場合によっては感染廃棄物などを事務組合、休日応急診療所で廃棄するというようなことも出てくるかと思えます。基本的には事務組合の関わりとしては、相楽会館の会場設営並びに当日の運営管理、事故等も起こらないような管理等の関わりと聞いておりますので、特に先ほどの可決いただきました補正予算、また今回の提案しています当初予算の中に具体的な費用を盛り込んでいるわけではございません。

以上でございます。

○議長 西山議員、どうぞ。

○西山議員 木津川市でも臨時会が先週ありまして、医療従事者の方のワクチン接種に関わっていますよという計上があったんですけども、まだ、手探り状態なので、それぞれの自治体も細かいところまでというのが難しい状況だと思うんですね。

今の御説明でしたら、主体は府が主になって行うということで、それぞれの市町村が関わっているような図とは思いますが、備品とかそういうようなものというのは府を通して市町村の負担になるのかということ、あくまでも貸し館でそれに伴っての多少費用とかも発生はしてくると思うんですけども、それは後精算ということで考えていいんですかね。

何しろ、初めてのことで、いろんな問題点とか含めて、ちょっと会場的には広いですけども、階段の部分であったりとか、搬入であったり、搬出であったりというところがちょっと不安が残るなと思いましたので、その経費とかの部分でもし補足説明があればお願いいたします。

○議長 事務局長。

○福田事務局長 はい、議長。再度の西山議員の質問でございますけれども、特に接

種会場は2階大ホールを利用していただくということで、特に医療従事者、またその職員、足の不自由な方、いろんな方が来られますが、会場バリアフリー等は特にできておりませんけれども、特に動線を、何ていいますか、往復しないような形ということで一方通行にするということで、感染対策を講じ、その場合、普段は利用していません舞台裏の階段も、急こう配の階段も下りていただくことになりますので、施設面としましては危険な箇所がないか、また安全確保、その辺は十分やっていきたいというふうに思っております。

特に、机、椅子等の備品はもちろん、貸室業務の中で貸出しをし、消耗品等、また防護服等は、それぞれ5市町の必要な人数分を用意されると、もしくは医師会が一括で用意して、木津川市分が何人分、精華町は何人分ということで、案分されて請求されるか、その辺もまだ情報は持っておりませんが、それぞれ必要な物品は必要なところで用意をされるというふうに聞いております。

以上でございます。

○議長 ほかに。

(「なし」の声あり)

○議長 なければ、これで質疑、終わります。

これより討論を行います。

討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第3号、令和3年度相楽郡広域事務組合一般会計予算についてを採決いたします。

この採決は起立によって行います。

原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長 起立全員であります。

よって、議案第3号、令和3年度相楽郡広域事務組合一般会計予算については、原案のとおり可決されました。

日程第7、議案第4号、令和3年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算についてを議題とします。

議案の朗読を省略し、直ちに代表理事より提案理由の説明を求めます。

杉浦代表理事、どうぞ。

○杉浦代表理事 それでは、議案第4号を提案させていただきます。

議案第4号、令和3年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算について。

令和3年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算を別添のとおり定めます。

令和3年2月16日提出。

相楽郡広域事務組合代表理事。

それでは、提案説明を申し上げます。

令和3年度特別会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ2,670万円といたしております。新たに、相楽会館改築等計画策定業務に係る経費と休日応急診療所の運営費の増額により、前年度比較では660万円、32.8%の増となっております。

歳入歳出予算の主な内容につきまして、説明を申し上げます。

まず、歳入では、財産収入は162万4,000円、休日応急診療所収入は2,073万8,000円、繰入金は432万6,000円、繰越金は1万円、諸収入は2,000円をそれぞれ計上しております。

次に、歳出では、振興費でふるさと市町村圏振興事業の経費として、595万2,000円、衛生費で休日応急診療所の運営経費として、2,074万8,000円を計上しております。

以上、令和3年度特別会計予算の概要を申し上げます提案説明といたします。

なお、詳細については事務局長から説明を申し上げますので、よろしく御審議の上、御可決賜りますように、よろしくお願いいたします。

○議長 提案理由の説明がありました。補足の説明を求めます。

事務局長、どうぞ。

○福田事務局長 事務局長の福田でございます。

それでは、議案第4号、令和3年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算につきまして、補足をさせていただきます。

特別会計におきましても、一般会計と同じく、予算附属資料をもちまして、歳出から説明申し上げますので、予算附属資料の14ページをお開き願いたく思います。なお、予算書は8ページからでございます。

それでは、予算の附属資料の14ページ、振興費、振興費、事業費、ふるさと市町村圏振興事業経費といたしまして、595万2,000円の計上でございます。前年度より277万8,000円の増額でございます。

前年度同様、ホームページの管理運営経費に17万4,000円、そして、「第3次相楽地区ふるさと市町村圏計画」に基づきます事業としまして、平成30年度から実施しております「お茶の京都」事業に対しまして、5市町村への交付金300万円を予算化、そして、新たに新規事業といたしまして、相楽会館改築等計画策定業務の委託料といたしまして277万8,000円を予算計上するものでございます。そのほか、予算は計上していませんが、第29回目になります「相楽の文化を創るつどい」の開催も

実行委員会をお願いをしようと思っております。

なお、特記事項の欄を御覧いただきたいと思えます。

こちらに記載のとおり、「広域圏事業の今後のあり方検討会」中間報告を受けまして、相楽会館の耐震改修や現地改築等のコスト算出を行う経費、そして引き続き検討会において、この委託業務の成果を検討するために、検討会で検討を行い、予定ですけれども、令和4年1月頃までには、最終報告書として取りまとめを行い、方向づけをしていきたいと考えております。

この中間報告書では、ふるさと市町村圏事業につきましても、平成4年11月、京都府知事から「ふるさと市町村圏」に指定を受け、翌の平成5年度から圏域の一体感の醸成のため、「相楽の文化を創るつどい」や「相楽ふるさと塾」など様々なソフト事業を展開し、相楽圏域の発展のために大きく寄与してきましたが、この事業につきましても一定の役割を終えたとしまして、第3次相楽地区ふるさと市町村圏計画の計画満了年度であります令和4年度末をもちまして廃止すべき、との結論でございますので、相楽会館大ホールの貸室業務の廃止と併せまして、組合規約の変更に係ります調整等が必要となってきているところでございます。

次に、15ページに移っていただきまして、衛生費、衛生費、休日応急診療費の休日応急診療所運営経費といたしまして、2,039万8,000円の計上でございます、前年度よりは360万3,000円の増額でございます。

令和3年度は、日曜日・祝祭日、年末年始、年間70日間の診療日で、会計年度任用職員の報酬や医師・薬剤師の報償費、また、医薬材料費や医師会への委託料などを計上させていただいております。

すみません。ここで予算書のほうを見ていただきまして、ちょっと附属資料に記載漏れがございましたので、予算書のほうも併せて説明させていただきます。

予算書の8ページをお願いします。

先ほども一般会計のほうで河口議員から御指摘がございましたけれども、職員体制の問題でございます。先ほど一般会計のほうで職員1名減というふうに申し上げましたけれども、特別会計のほうで1名雇用することで、具体的には8ページの説明欄の1節報酬、ここで1、2、3とございます。1つ目が会計年度任用職員、看護師です。看護師を16名雇用する費用としまして207万9,000円の計上でございます。2番目としまして、会計年度任用職員（管理事務職員）、こちらは、70日間をお二人の方で約35日ずつ管理をしていただく方の会計年度任用職員分の報酬として53万2,000円、そして3番目に新たに会計年度任用職員、事務補助としまして、月曜日から金曜日の間、週3日間来ていただく会計年度任用職員1名を94万4,000円、新規計上させていただきます、それに係る職員手当と3番の期末手当、これ週3日の方の

期末手当ですけれども21万3,000円、新規計上させていただいております。

こういうのがありまして、ちょっと予算書の12ページを見ていただきますと、給与の面の総括表になっていますが、総括のところでは今年度19名、内訳としましては看護師16人、管理事務職員2人、新たに事務補助1人ということで、前年度より2名増という形になっております。また、会計年度任用職員の募集につきましては、看護師等の募集につきましては、議会終了後明後日にもホームページ等で募集を行う予定としております。

そういうところで、ここで職員2名増というふうになっているところが、先ほどの予算附属資料のところの15ページのところでちょっと記載漏れもございましたので、予算書のほうで説明を加えさせていただきました。

申し訳ございません。予算附属資料の15ページに戻っていただきまして、特に令和2年度以降、令和3年度も含めまして、新型コロナの影響で感染防止対策や診療体制確保など診療所運営も大変厳しくなってきました。当面の間、現在1人で管理事務、会計年度任用職員1人で管理させているんですけれども、いろいろと臨機応変に対応せんなんという場面がかなり出てきていまして、当面の間、一般職員3名いますけれども交代で出れないということで、管理事務の体制強化も図っていきたいという考えでございまして、新たに週3日の勤務の会計年度任用職員を1人、雇用するための経費もこちらのほうで計上させていただいたということでございます。

また、休日応急診療所は、令和2年11月1日以降、発熱外来診療体制を見直しまして、京都府知事から「診療・検査医療機関」として指定を受けまして、発熱、風邪症状の専用の診察室を設けるなど発熱患者と非発熱の患者を診療時間や診察場所を分けるなどして、なるべく安心して受診していただけるよう工夫し、施設面など余裕がない中で、自家用車に乗車のまま診察するなど、可能な限りニーズに対応できるように運営を続けているところでございます。

また、令和3年度からは、特記事項の一番下段に書いておりますけれども、調剤等業務の委託につきましては、現在の医療法人社団医聖会から相楽薬剤師会に変更を予定しているところでございます。

次に、右側の16ページ、衛生費、衛生費、休日応急診療所費予備費の診療所運営費での予備費といたしまして35万円を計上するものでございます。

以上、歳出合計で2,670万円となるものでございます。

続きまして、歳入の説明に移りますので、今度は、予算書のほう6ページをお願いいたします。

予算書の6ページの第1款財産収入につきましては、162万4,000円の計上でございまして、前年度よりも91万4,000円の増と。説明欄にもありますとおり、

基金7億円につきましては、現在、平成31年3月29日から令和4年3月29日までの3年間、3年の定期預金といたしまして、JA京都やましろ農協木津支店の定期預金、利率0.145%で預託をしております、令和元年、令和2年の2か年の中間利払が70%でございましたので、3年目の本年度は、101万5,000円、そして、3割分の2年分、これが60万9,000円ございまして、計の162万4,000円を見込んでおります。

そのほか、7億円以外の基金としまして、京都銀行木津支店の1年定期664万5,000円の部分を、定期利率が0.01パーセント、600円ということでございますけれども、その運用益、財産収入が162万4,000円ということでございます。

次の、第2款の休日応急診療所収入、第1項診療報酬収入につきましては、新型コロナウイルスの影響というのが大変不透明な部分がございまして、例年並みの581万円を計上しているところとございまして、収入減になる見込みになりますと、また必要に応じて補正措置等をさせていただきたいと思っております。

第2項の繰入金につきましては、先の一般会計で説明のとおり、1,492万8,000円の計上でございます。

第3款繰入金ですが、ふるさ市町村圏事業の推進のために、432万6,000円の計上でございます。

7ページのほうでございますけれども、第4款繰越金が1万円、そして第5款諸収入につきましても、前年どおり、ごめんなさい、2,000円、例年と同じでございます。

以上、歳入の合計で、2,670万円となるものでございます。

以上が、歳入歳出予算の概要でございます。

なお、資料集33ページのほうには、第3次相楽地区ふるさと市町村圏計画の計画期間であります5年間の事業計画、あと34ページには、「お茶の京都」の交付金、35ページから41ページには、休日診療所の受診者数の推移などを記載しておりますので、こちらのほうも併せて御覧をいただきたいと思っております。

以上、議案第4号の補足とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○議長 以上で、議案の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑ありませんか。

柚木議員、どうぞ。

○柚木議員 初めのふるさと市町村圏振興事業経費のところの相楽会館のところについてです。

今、御説明ありましたように、あり方検討会の中間報告を受けて、委託して様々なことを調べられると思うんですけども、その結果で、以下こういうように年度内で廃止・

存続等を取りまとめられるんですか。4年1月末というのは、大変忙しいところでは、今、私は思うんです。ですので、何を調べるのかということもかなり細かく決めておられると思うんです。それを分かるだけ教えてほしいということです。

例えば、相楽会館ですが、耐震改修なども、耐震って4年度末で貸館は終了するけど、どんな耐震かななど、そういうことで、この委託では、いつ出して、何を調べて、結果をいつもらってというようなことを分かる範囲で教えていただきたいと思います。

○議長 事務局長、どうぞ。

○福田事務局長 はい、議長。8番、柚木議員の御質問です。

特別会計のほうで新規事業で上げています委託業務の内容に関係する部分でございますけれども、一応、中間報告にもありますように、相楽会館の現状、貸室が大ホール2階のみ、1階部分というのは消費生活センターや休日応急診療所と広域の事務所もあるわけでございます。築45年というところもありまして、今後移転、また改修するにも経費が分からないと比較検討ができないということが中間報告の中で言われております。そこで、今回の252万7,000円の委託料でやろうとしていることを申し上げますと、まず、中間報告でその改修内容は、1つには耐震改修、それから現地改修、そして移転改築、そして既存施設への移転・複合化というような形で4つほど方策を挙げられていまして、それぞれその4つの方策ごとに必要経費を出していきたいと思っています。

例えば1つ目の耐震改修であれば、耐震診断、耐震調査、耐震費用に、そのものをするわけではなくて、する場合の経費はどれぐらいかかるかというようなことを。その場合も耐震工事をするに当たっても、1階部分で職員が事務をしながら耐震工事をする場合と、全て引っ越し場所を決めて、引っ越し先を決めて、移転先を決めて、例えば引っ越し先が有料な場所であれば賃借料も含めて全体的な経費を、いながらの工事が可能なのか、全て移転してからの工事しか駄目なのかも含めて、いろんなことを出し合って、かかる費用を全て出して、それを比較検討を行って、検討会の中で方針を決めていこうということです。したがって、実際に工事自体はするわけではございません。今後のあり方を、相楽会館の使い方を、また、休日応急診療所の場所も含めて検討するとき、場所を検討するときに必要な材料を令和3年12月までに作って、2月議会までに報告できるように事務を進めていき、中間報告にありました相楽会館の廃止やふるさと市町村圏事業の廃止等、規約変更も含めた最終報告書として取りまとめると、こういうものでございますので、御了解いただけますでしょうか。

○議長 柚木議員、どうぞ。

○柚木議員 今年の12月末までに詳細な報告を詰めるということですね。それで、4年1月頃までに報告書を取りまとめる。

それで、相楽会館ですが、方向は聞いています。各市町村でも相当な会場や施設を造

っておられるから、需要が少なくなっているというふうにお聞きしましたし、それなりに納得をしました。私は、相楽会館の2階を何度も使わせてもらいました。で、諸設備は当然、ちょっと便利悪いんですけども、あれだけの広さのところがあつていいなど、近いしというので、余裕持ってスペースが利用できると思ったんですけど、それは各市町村が出された方向で、特に反対ができるものではありません。

ですが、それを含めて、相楽会館だけじゃないですよ。含めて、4つの1階の施設なんかのあり方についても、1月までに方向を取りまとめるというと、皆さんの意見、もう市町村のを超えて利用者の意見とかそういうのを聞いていただくのは無理じゃないかと思うんですが、その辺はいかがお考えですか。

○議長 事務局長、どうぞ。

○福田事務局長 はい、議長。8番、柚木議員の質問でございます。

そうですね、もちろん、貸室の廃止等になりますと、利用者さんのほうには通知もしますし、実際、消費生活センターや休日応急診療所の御利用されている方の声なんかも今後反映させていただかなと思いますけれども、いずれにしましても、そういった今回の議員さんの御質問とか、御指摘の部分も含めて、新年度に入りましたら、早速、5市町村と一緒に取り組んでまいりたいと思っております。

その辺も視野に入れながら考えていきたいと思っております。

○議長 柚木議員、どうぞ。

○柚木議員 改めることについて、今度、1階の4つの機能を持っているお部屋について、消費生活センターとか休日応急診療所とか、それらについて結果が出ているわけじゃないですよ。わけじゃないから、その後に考えることですが、もし、現地の耐震ではなく、建て替えとかいうようなことになった場合は、どのようにするかとかそういうことも全て今後の課題だということですが、少しお考えがあるのでしょうか。

○議長 事務局長、どうぞ。

○福田事務局長 はい、議長。柚木議員の大変御心配をいただいているところでございますけれども、いずれにしましても、この委託業務でいろいろと出し合って、意見を、5市町村の担当者と事務組合とで出し合って、いろんな方向性を、いろんな問題点を出し合って、比較検討をし、場合によっては11月議会等で議会のほうにお諮りをさせていただき、十分説明した上で、最終報告書に取りまとめを行っていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長 ほかに。

西山議員、どうぞ。

○西山議員 すみません、西山です。

ちょっと続きの部分もあるんですけども、予算が通ったらすぐにそういう形で、どれが一番最善の方法かというところの部分をもとめていただくということなんですけど、この1週間に大きな地震がありますよね。昨日は静岡でしたっけ、非常の蓄電池が落ちてきたというのをちょっと映像で見て、震度4か何かでそういう形ということになっていて、今一番心配しているのはやっぱり耐震面だと思うんです。確か、耐震の診断もしなくていいと言うとおかしいですけど、法的にはしなくてもいい場所ということですからこの間来ているんですけども、この計画に進めていって、どれが一番いいかという方法をとりあえずは議会とそれと理事者側にも提示をして、その後の進め方というのは、一刻も早く必要にはなってくると思うんです。今本当にどこで地震が起こっても不思議ではない状態ですし、特に貸館という部分では、もうほかの人は来なくてもいいですというふうにはなりますけれど、先ほどからおっしゃっているように休日診療所とか消費者センターとかいうものが入っているので、その後、答えづらいとは思いますが、一刻も早く何らかの形で進めるべき話ではないかなと思いますので、そこのところをお願いしたいと思います。

これをするので、耐震診断とかというのは、もう度外視するということになるんですよ、多分。そこのところの確認がしたいのが1つ。

あとそれと、先ほどの収入の部分でちょっと再度確認したいのが、歳入の部分で、利子の部分で3年定期だったので中間払いで今回全部精算が終わるという形でよかったのか、そこはちょっと確認だけです。

それと、休日応急診療所のほうです。これも先ほど局長のほうから前年度と同額で一応収入の予算を組んでいるということなんですけれども、このいただいた資料のところでは、もう令和2年で言ったら、令和元年が1,072ということで今回が令和2年度が、途中ではありますけど、215ということで、5分の1というか4分の1というか、こんな中で今後はコロナ対応もできるような形で休日応急診療所をしていく、なので診察とかの患者の受入れも増やしていけるみたいなふうに考えていらっしゃるのか、そのところ、ちょっとあまりにも数字的には差が出てきてしまうので、収入の部分ではちょっと気にかかります。そこの答弁をお願いします。

○議長 次長、どうぞ。

○國子次長 はい、議長。それでは、まず、西山議員の質問に対してお答えさせていただきます。

まず1点目の相楽会館の改築等の委託業務の件でございます。まず、今回、先ほど来、説明させておりますように、今回発注する業務委託の内容につきましては、いわゆる専門的なコンサルタントにコストを算出していただくということを目的でございます。

それらを踏まえまして、その結果を踏まえて、またあり方検討会の中で議論をして、

最終報告書として取りまとめる、で、また理事会のほうに報告をするよというような流れで、併せて議会にも報告させていただくということで、それらをなぞらえて、具体的にどのようなタイムスケジュールで今後どういう方向をもって進めていくのかということ、意思決定をしていくプロセスでございます。

その西山議員の耐震診断とかを度外視してとかいう御質問の内容あったんですけども、基本、どの方法が一番望ましいのかというのを、今の段階では判断できないので、コスト面も含めてそれを判断していきましょうというところで最終報告を取りまとめということになりますので、どの方法が望ましいのかということ、コスト面も含めて出せば、おのずとどこの道で行くのが一番望ましいのではないかと、意思決定が円滑に進んでいくのではないかと、このように理解をしております。

それから、2点目の財産収入の基金の運用の利子の件でございますが、議員のお見込みのとおりでございます。最初の2か年は70%の中間利払いですので、その30%分の2か年分を最終年度に頂くということでございます。

それから、休日応急診療所の受診者数の件でございますけれども、当然、御指摘のとおり、今までここ数年1,000人台で推移してまして、現在12月末で約200人台で、最終でも400人か500人ぐらいで着地するかなという見込みは持っております。

ただ、当初予算を積算するに当たりまして、このコロナの状況が今後どのようになるのかということも不透明な状況がある中で、この人数の実績、受診者数見込みをどのように出すのかということにつきましては、いろいろと事務レベルでも議論はさせていただきましたが、不透明な見通しの中で1日10人、70日ということで、前年並みで横置きをさせていただいたというのが実情でございます。なお、今後、人数の変動、受診者数の見込みが当然見えてまいりますので、来年度の11月議会並びに2月議会におきまして、それ用の措置を講じさせていただきたいということでございます。

以上でございます。

○議長 西山議員、どうぞ。

○西山議員 すみません、ちょっと私、言い方があれでしたね。耐震を度外視というわけじゃなくて、要はそのあり方検討会でどういう方向を示すところまで、いったら耐震診断も含めて、それはできない状態ということで進めるという、進んでいくんですねというところなんです。

ちょっと、そこがやっぱり気になったので、お伝えさせてもらいました。

休日応急診療所のほうは、資料でも見せていただいたらお正月とかも増えてきているので、そういったところは一定数受診者が、全部回復はしないし、半分にも行かないだろうということですが、次年度においては積極的に活用していただけるように、

ホームページもいろいろ頑張っていたと思っていますし、私もちょっと久しぶりに見せていただいて、ちょっとコメントもさせていただきましたけれども、本当に来ていただいてこそその休日診だと思しますので、そこはまたホームページ等、積極的に皆さんに宣伝をして使いやすいものという形で理解いただいてパーセンテージも伸ばしていただければと思います。

ちなみにそのホームページで見たときに、会計年度任用職員、休日診療所の事務職員というのを募集ということになっていましたけれども、2人プラスという話も、補助とかも含めて増やすというところで、一定のめどは立ったんですか。その部分だけ確認します。

○議長 事務局長、どうぞ。

○福田事務局長 はい、議長。3番、西山議員の再質問でございます。

1点目、相楽会館の今後のコンサルタントの業務でございますけれども、業務の範囲の中にはコスト比較の資料までですので、実際、最終報告書が令和3年度中に考えておりました、令和4年度にはその報告書に基づいて、大体作業に入るわけですが、まずは規約変更のところが変更されますので、会館の、どの選択を選ぶかというところはありますけれども、具体的な工事は早く令和5年度以降になろうかというふうに思っておりますので、その辺の財源措置の問題も各5市町村で講じてもらわないけませんので、その辺が計画の後に工事着手というふうになりますから、5年度以降早い時期にそういった工事着手になるかという計画を、今のところは持っているところでございます。

それと、ホームページで今、実は会計年度任用職員を募集していますのは、管理事務の方お二人を先行してやっております。先行した理由というのは、2人いらっしゃるうちの1人が1月末で御事情で辞められまして、今現在1人ですので、先行して今募集をかけておまして、今のところ組合のホームページ、また5市町村でリンクを張っていただいて募集をお願いしているところでございます。併せてハローワークにも募集をかけておまして、現在、お一人面接が終わっておりまして、そのほかにも応募者がございませんので、その方をお願いしようということで今進めております。そのほか、今務めていただいているお一人の方も応募していただいておりますので、面接をしたお一人と今勤務していただいている人がお一人で決定しようかなというふうに今考えております。

なかなかコロナの状況の中では、診療所や病院に事務として働くところに感染リスク等があるのではないかとというようなことで、応募者が少ない、ない状況というのが、事務局としても感じているところでありまして、本当に応募していただけるだけでも大変ありがたいなと思っている現状です。応募者がなければ、職員が日曜日に出てくること

になるわけですがけれども、何とか面接1人来ていただいていますので、その方を採用しようということで、今進めているところでございます。

それと、すみません、1点、先ほどの補正予算のところ、西山議員から、国庫補助金や府補助金の財源確保というお話がございましたけれども、新年度予算では、国庫補助金並びに府補助金の予算措置はしておりません。なかなか不透明なところがございまして、そういった活用できるような補助金ができましたら予算化とか補助申請していきたいと思っております。ただ、補正予算に上げておりました100万円の交付金がございましたね。あれは1診療所1回限りでございまして、また令和3年度も100万円要望できるというものではないということ。並びに京都府の補助金、年末年始の1日10万円の補助金もあるかないかは、今現在府に確認しても不透明でございまして。また、国の支援金補助金につきましても、現在では来年のことは不透明ということですので、補足させていただきます。

○議長　　ほかに。

河川議員、どうぞ。

○河川議員　　1点、お願いします。

予算書の6ページです。

利子及び配当金のところ、説明欄のところ、本当に局長、詳しく説明していただいたので内容はよく分かりました。これ、やはりこの利息、果実をやはりいろんな形で事業に使っているということで、この7億というのは大変貴重な基金であるというふうに考えております。

ちなみに、令和4年、これが終わりましたというふうには基金運用をなさっていくのか、計画等々ございましたらお聞かせいただきたい、そのように思っております。令和4年度からはどうでしょうか。

○議長　　はい、議長。事務局長、どうぞ。

○福田事務局長　　4番、河川議員の御質問で、この資料集、すみません、33ページをお開き願いたいと思います。

33ページに、先ほども私、補足説明で申し上げましたとおり、第3次相楽地区ふるさと市町村圏計画の計画期間であります平成30年度から令和4年度、5か年の計画等を記載しております。黒く網かけしている部分が令和3年度の部分でございまして、

令和4年度の部分につきまして、この備考欄、一番小さくて見えにくいですがけれども、一応、中間報告では令和4年度をもってふるさと市町村圏は廃止するということとなりますので、計画では、1年の普通預金で7億円を管理しようとしておりますので、利息はほとんどゼロに近い、7,000円というところでございまして。ですから、定期とかの運用は考えておりません。

令和4年度をもって7億円は5市町村並びに京都府に返還する計画で、現時点進めておるところでございます。

以上でございます。

○議長 ほかに。

(「なし」の声あり)

○議長 なければ、これで質疑、終わります。

これより討論を行います。

討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第4号、令和3年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算についてを採決いたします。

この採決は起立によって行います。

原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長 起立全員であります。

よって、議案第4号、令和3年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算については、原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全部終わりました。

西山議員、どうぞ。

○西山議員 すみません、発言をさせていただきます。

すみません。議案は全部終わったんですけれども、この当組合で一般質問というのは、今まで私が知る限り聞かれたことはないんですが、会議規則には一般質問があるんです。これの取扱いを、一度検討していただけたらと思って、ちょっと議長に要望も含め、お願いしたいと思います。

○議長 今の西山議員の話は、議会運営上の話になりますので、後日議会運営委員会に諮っていただきたいなと思っておりますが、それでよろしいでしょうか。

○西山議員 よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長 これをもちまして、令和3年第1回相楽郡広域事務組合議会定例会を閉会いたします。

本日は、長時間にわたり慎重に御審議賜り、大変ありがとうございました。議員の皆様今後のますますの御健勝と御活躍を御祈念し、大変御苦勞さまでした。大変ありがとうございました。

(午後4時10分 閉会)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

相楽郡広域事務組合議会議長 三原 和久

会 議 録 署 名 議 員 梅本 章一

〃

小西 啓